

2017年に新しく設立されました！

とちぎコミュニティ基金・冠基金助成

# たかはら子ども未来基金

申込締切

助成部門 2017年9月30日（土）消印有効

学生インターン部門 2017年7月31日（月）消印有効

## 1. たかはら子ども未来基金とは？

たかはら子ども未来基金とは、子どもや若者の未来を応援する目的で、県北在住の夫妻が設立した基金です。現在、家庭の経済的困窮が要因となり、子どもや若者の「未来への可能性」を奪う様々な不利が生じています。境遇や生育環境に関わらず、全ての子どもや若者が等しく人生を拓く機会を得られるように「たかはら子ども未来基金」を創設し、特に栃木県北地域の子どもや若者を支えています。

## 2. 2017年度の助成事業

基金は、とちぎコミュニティ基金内に設置し、助成部門と学生インターン部門を設けています。1つの団体は、どちらか1つの部門に申請できます。

助成部門は、従来の活動の発展を促すほか、新しく立ち上げた団体の活動の応援をすることを目的としています。下記の対象団体から公募、または推薦し、選考を行い、支援します。

学生インターン部門は、若者とNPO、市民活動団体が共に成長できる仕組みを作ることを目的としています。学生が一定期間、NPOや市民活動団体にスタッフ見習いとして研修することを応援します。一定期間、奨励金を渡し活動することによって、若者の積極的な参加とNPOや市民活動団体への継続的な応援者を増やすことを目標とします。

## 3. 対象となる団体（助成部門と学生インターン部門の対象団体です）

### （1）対象となる活動内容

基金は、NPOや市民活動団体のうち、以下の団体が対象です。

#### ① 子どもの食事と居場所を支える活動

例) こども食堂の運営支援、新規設立支援。

#### ② 子どもの学習を支える活動

例) 無料学習支援、学びなおしの支援。学用品の物品支援など。

③ 子どもの体験を支える活動

例) 自然体験や文化体験などの子どもの心の成長を支える活動を支援。

④ 若者の社会参加や就労、生活を支える活動

例) 若者の居場所づくりや就労訓練プログラムを支える活動を支援。困窮学生支援。

⑤ 基金を増やすための活動

例) 「たかはら子ども未来基金」の成果を広く発信し、後に続く篤志家を増やす活動を行う。

## (2) 助成する団体の条件

営利を目的とせず、公益的・社会的な活動をすでに1年以上継続的に行っている栃木県内のNPO・市民活動団体・ボランティア団体（法人格の有無は問わない）

※ とちぎコミュニティ基金の「NPOデータバンク（CANPAN）」への登録は、今年度は必須ではありません。ただし、登録すると冠ファンド「とちぎゆめ基金」への応募資格、NPO 春の合同寄付キャンペーン「寄付ハイク」への参加資格など様々な特典があります。登録・更新の方法については以下のホームページ（[tochicomi.org](http://tochicomi.org)）をご覧ください。

※NPO情報公開・信用システム(NPOデータバンク)とは…民間(企業・個人)からNPOへの寄付・寄贈品の提供を促すには、信用を得ることが大前提です。

「NPO情報公開・信用システム」は、登録したNPOの情報を身近なNPOセンターに行って閲覧したり、HP上でそれぞれのNPOの活動内容・財務状況まで参照できる仕組みです。

## (3) 選考基準

前出の条件を満たす団体の中から、以下の選考基準で選考いたします。

- ② 子どもや若者の未来の可能性を本気で応援したい団体
- ② 地域で必要とされ、一般の人に開かれて参加できる活動であること
- ③ 助成を受けることで、活動の基盤を強化できる団体であること

## 4. 助成部門の内容

- ・助成総額 40万円
- ・助成団体数 3団体
- ・助成金額 メイン助成 20万円1団体、サブ助成 10万円2団体
- ・助成地域：3団体のうち、2団体は県北地域から選び、1団体は栃木県内からとする
  - \* 県北地域→矢板市、塩谷町、高根沢町、さくら市、大田原市、那須塩原市、那須町、那須烏山市
  - \* 栃木県内→中央（宇都宮市、上三川町、壬生町）、東西（日光市、鹿沼市、芳賀郡、真岡市）
- （該当する地域に事務所がある団体か、地域で活動している団体に助成します）
- ・1年間ごとの申請とし、毎年申請書を提出いただきます。毎年審査を行い、最大3年間、継続して助成します。

## 《選考の流れ》

助成部門の選考の流れは以下の通りです。今年は、公募枠と推薦枠で行います。

日程	項目	備考
9月1日（金）～	応募受付開始	前出の条件を満たす団体は、所定の申請書に記入し、応募してください。
9月30日（土）	応募用紙提出締め切り	
10月中旬	選考（書類選考）	とちぎコミュニティ基金の運営委員会で選考します。
10月末	団体の選定、決定通知	
11月	贈呈式	必ず出席いただきます。
2018年春予定	成果発表会	必ず出席いただきます。

## 5. 学生インターン部門の内容

- ・学生のインターンシップ受け入れを希望する団体と、NPO活動に関心の高い学生をマッチングします。
- ・学生には半年間、1ヶ月4日程度、団体の必要な業務、ボランティア活動を行っていただきます。
- ・（団体にとって）学生のインターン生を受け入れることで、活動に新たな視点が持てるほか、新しい年齢層の参加を増やすなど、活動を発展させることを期待できます。
- ・（学生にとって）参加できる機会が少ない学生に、スタッフの視点で関わることで、活動の背景や課題などを深く学ぶことができます。
- ・（対象団体）開始時期のオリエンテーションや振り返りの実施などができる、学生のインターンシップを受け入れられる団体を対象としています。
- ・（その他）団体からの推薦者となる学生を優先します。

- ・助成総額 40万円（インターン生4人分）
- ・助成金のうち、20～30%は団体の受入のための必要経費とすることも可。例：団体2万円+学生8万円
- ・インターンの受け入れ団体数：3～4団体
- ・団体の活動エリア：中央、東西、県北から1～2団体を原則として選びます。
  - 中央（宇都宮市、上三川町、壬生町）
  - 東西（日光市、鹿沼市、芳賀郡、真岡市）
  - 県北（矢板市、塩谷町、高根沢町、さくら市、大田原市、那須塩原市、那須町、那須烏山市）（該当する地域に事務所がある団体か、地域で活動している団体に助成します）
- ・学生インターン 1団体に1人または2人が半年間活動する
- ・単年度での支援を行う。

## 《選考の流れ》

日程	項目	備考
7月1日（金）	応募受付開始	受け入れ団体の募集を開始します。 所定の申請用紙に記入してください。
7月中	学生の応募	団体からの学生の推薦を優先します。 とちぎコミュニティ基金に学生からの応募があった場合は、マッチングを行います。
7月31日（月）	申請用紙締切（団体）	申請用紙の提出後、順次訪問いたします。
7～8月中	面談&選考	指定した日時に学生と面談を行います。
8月31日（木）	団体の選定	とちぎコミュニティ基金の運営委員会で選考します。
9月25日（月）頃～	学生インターン開始	全体オリエンテーションはとちぎコミュニティ基金で行います。
1月中	中間報告&面談	必ず出席いただきます。
3月中	活動報告会	必ず出席いただきます。

## 6.お問い合わせ・お申し込み

下記の連絡先から、メール、郵送、FAXからお申し込みください。

日曜日・月曜日は事務所がお休みです。

とちぎコミュニティ基金（認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク内）

担当：大木本・矢野

住所 〒320-0027 宇都宮市塙田 2-5-10 共生ビル 1階

電話 028-622-0021 FAX：028-623-6036

メール [info@tochicomi.org](mailto:info@tochicomi.org)

HP <https://www.tochicomi.org>